



令和3年4月23日

「民主と自治の会」
藤代 政夫 様
渡邊 俊彦 様
佐藤 剛 様
戸部 光枝 様

鎌ヶ谷市長 清水 聖士



要望書“生理用品の無償配布を実施してください”について（回答）

令和3年3月26日付けで申し入れのありましたこのことについて、下記のとおり回答いたします。

記

本市では、生活困窮者に対する相談窓口として、社会福祉課内に「生活支援相談窓口」を設置し、生活困窮者の相談内容から助言や関連窓口の紹介、活用できる自立支援制度などによる対応を行っておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による経済活動の停滞などにより、貧困状態に陥っている方が多くいることにつきましても、いただくご相談の内容や相談件数の増加などからも承知しているところです。

令和3年3月、政府は、令和2年度の予備費で地域女性活躍推進交付金を拡充することを決定し、生活困窮世帯を支援するNPO法人や民間団体が行う生理用品の無料配布に係る事業もその交付対象に追加したところです。

政府のこうした情勢判断を踏まえ、今後の交付金要綱の制定に係る動きや先行実施している自治体の例を参考に、課題を整理してまいります。

なお、現在、本市では防災備蓄物資として、生理用品17,280枚を備蓄しております。今後も状況の把握に努め、防災備蓄物資の有効利用の一つの方法として、生理用品を必要とする方への無償配布等を検討してまいります。